

2004年6月28日

ポーランド・コゼニツェ発電会社向け脱硫設備を受注

日立製作所 電力グループ(グループ長&CEO:眞野 重治/以下、日立)は、ポーランド共和国(以下、ポーランド)ポルテゴ社(Poltegor Engineering Ltd.)と共同で、ワルシャワ近郊で運転中のコゼニツェ発電会社(Elektrownia "Kozienice" SA)石炭火力発電所4~8号機(200MW/5基)向け脱硫設備を受注しました。契約金額は約40億円で、本脱硫設備は2007年3月から使用開始される予定です。

欧州では、2008年1月より石炭火力発電所から排出される硫黄酸化物(SO_x)および窒素酸化物(NO_x)の規制が強化されるため、欧州各国は脱硫設備の設置などの対策を進めています。脱硫設備は発電所から排出される排気ガスに含まれているSO_x等を9割以上除去できるため、2008年1月の規制強化に向け、今後も需要が高まるものと思われます。

今回日立が脱硫設備を納入するコゼニツェ発電所は、ワルシャワ南方80kmに位置し、10基2,860MWの出力を有する石炭火力発電所です。今回日立は、ポーランドにおいて最大容量で、欧州でも最大級のとなる800MWの脱硫設備を納入します。また今回の納入において、日立は欧州では初めて脱硫設備の製造、据付、試運転までを一括して請負います。脱硫設備の製造は、子会社のバブコック日立株式会社(取締役社長:小川 隼人)が行います。

今後も日立は、今回の受注を契機に欧州市場への積極的な事業展開を行い、受注拡大に努めます。

照会先

株式会社日立製作所 電力グループ 国際電力営業本部 欧州部 [担当:篠原]
〒101-8010 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
TEL 03-5295-5179(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
